

校長通信

東京都立戸山高等学校

校長 布施 洋一

チーム・メディカル研究発表会

12月9日（土）、本校講堂で、チーム・メディカル（TM）の平成29年度研究発表会が行われました。

TMは、東京都教育委員会が平成28年2月に策定した「都立高校改革推進計画新実施計画」に基づき、戸山高校において医学部医学科への進学を希望する生徒がチームを結成し、互いに切磋琢磨し支え合うことで自らの目標実現を目指すという、3年間一貫した教育プログラムです。ただし、医学部進学を目指す特進クラスのようなものではありません。TMの生徒はそれぞれのクラスでそのクラスの時間割に沿って授業を受け、学校行事や部活動等にも他の生徒と同じように参加していますが、平日の放課後や土曜授業実施日の午後、長期休業期間中等に集まって、TMとしての活動をします。

TMの活動は、医師になるためのキャリア教育と、国公立大学等の医学部進学を目指す進学指導が二本柱です。後者の進学指導については、クラウドを活用した生徒一人一人の学習支援や、TM生対象の模擬試験や小論文、面接等の指導、TM担当教員との定期的な個人面談や受験校決定支援等を行いますが、TMの特色がより明確にわかるのが、前者のキャリア教育の部分です。

TMのキャリア教育は、医師という仕事がどういう仕事なのかを生徒に正しく理解させることで、医学部進学に向けたモチベーションを高めるとともに、将来患者さんから信頼される医師となるためのスキルを身に付けることを目的としています。それでは医師に求められるスキルは何かといえば、多くの医師や医学系の研究者等が共通してあげるのが、「コミュニケーション能力」や「プレゼンテーション能力」です。患者さんと信頼関係を築くためのやりとりをしたり、チームとして円滑に仕事を進めるための意志疎通を図ることが、治療や研究の前提として必要になるということなのでしょう。

TMでは、1年生のうちから医師や医学系研究者の講演を聴いたり、大学の医学部や医学系研究所、病院等で実習や体験等を行う機会を多く設定しています。これは講演者や実習先の関係機関等の協力があってはじめてできることですが、幸いなことに多くの関係機関がTMの取組の意義を理解し、TM生のために特別なプログラムを用意してくれています。TM生は医療の最前線で働く医師や研究者と直接話をするすることで、医療に従事することの意義を実感し、「医師になりたい」という思いをより強く持つようになります。

今回の研究発表会も、キャリア教育の一環として実施しているものです。各自が医療に関する研究テーマを設定し、文献や実験等で調査・研究を行い、その成果を論文にまとめます。2年生には論文の要旨を英語で書くことも求めています。研究会当日は、完成した論文を冊子にしてTM生全員に配布するとともに、各自がパワーポイントを使って自分の研究内容や研究成果を口頭で発表し、質疑応答を行いました。

現在のTM生は、1年生24名、2年生11名です。TMは平成28年4月に始まった取組なので、2年生が実質的なTMの一期生となります。国公立大学の医学部に進学するのは大変なことですが、そのためのモチベーションを3年間維持していくことも容易なことではありませんが、同じ目標を共有し、共に競い合い助け合う仲間が身近にいるということが、大きな心の支えになることは間違いありません。TM生が高い志を持って、あせらず、しかし確実に、自らの目標貫徹を目指して一步一步前進していかれることを願っています。